



日出谷小だより

学校教育目標【明日をつくる日出谷の子】

ミラノ・コルティナ冬季オリンピックより

校長 須田 肇

イタリアのミラノ・コルティナ冬季オリンピックが終わりました。時差を越えて届く白銀の世界からの熱気が、私たちの心に大きな感動をもたらしました。みなさんも、日本選手や各国選手の活躍に一喜一憂したのではないのでしょうか。

さて、このオリンピックは、子供たちにとっても、これからの人生においての大切な心構えを得る貴重な機会となったはずです。今大会のテーマの一つは「持続可能性と未来への継承」でした。今あるものを大切にしながら未来を創るという姿勢は、これからの社会を生きる子供たちにとって重要な視点です。

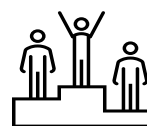
しかし何よりも子供たちの心に響いてほしいことは、アスリートたちが体現する「困難に立ち向かう力」、「困難から立ち上がる力」、「相手をリスペクトする心」です。

氷上・雪上のコンディションや天候など、自分ではコントロールできない環境に翻弄されながらも、一瞬の勝負にすべてを懸ける姿。また、転倒しても失敗しても視線を前へと向け最後まで滑りきる姿。競技・演技終了後の涙と笑顔、ライバルとの握手、その一挙手一投足は、言葉以上に子供の心の成長を促す尊いメッセージです。



ご家庭におかれましても、選手の背景にある「プロセス」について改めて言葉を交わしてみてください。選手の「喜びやくやしさ」、「失敗後の次の競技・演技への心のもちよう」、「競技・演技への執着と潔さ」、「勝った選手へのリスペクト」、「これまでの努力や思い」、「周りの人への感謝」について問いかけてみてください。この舞台に立つまで、何年も何年も努力を続けてきた選手の姿を通して、お子さんが「自分も挑戦したい」、「自分もがんばれる」、「あきらめない」、「相手も頑張っているんだ」、「周りの方々の助けがあるんだ」等々に気づき、より強く豊かな心が育まれることを願っています。

学校生活という日常の舞台においても、子供たちが自分なりの「夢（目標）」をめざしてがんばり続け、「プロセス」を大切に、「努力している人をリスペクト」できる心を育てられるよう、私たち教職員も伴走してまいります。



お子さんのSNSへの発信にご注意を！

中学生や高校生の暴力行為等の動画のSNSへの投稿・拡散が問題となりました。暴力行為はもちろんのこと、その投稿・拡散も重大な人権侵害や犯罪になってしまいます。そしてニュースでもご存じのとおり、犯罪行為に該当する暴力行為やSNSの投稿・拡散は、警察等の関係機関と連携・対応することとなります。学校でも指導していきますが、ご家庭でもお子さんと「冗談だったや悪ふざけだったでは許されないこと」「いけないことはいけない」ということを適時話し合うようにしてください。

4月の予定は、次の学校だよりでお知らせします

今回に限り、行事予定は3月の予定の1か月分のみとさせていただきます。4月分は、各健診等の日程が決定してから、3月下旬に発信する予定です。